

質問・回答票

2024/5/16

委託事業題目： 日本、中国及び韓国の政府系科学技術・学術政策研究機関によるセミナー開催等を通じた日中韓3か国の科学技術・学術政策研究に関する協力についての調査・分析

該当箇所	質問内容	NISTEP 回答
1 仕様書P2. 3-1. 日本、中国及び韓国における科学技術・学術政策研究に関する協力についての調査	特に調査として重点をおきたいポイント（一番気になっていること）は何か？	仕様書1頁「3. 委託業務の内容」に記載のとおり3-1の調査については、重点等を含めて弊所と相談の上で、進めていただくことを想定しております。調査項目については、仕様書2頁、3-1の「調査項目」ア、イ及びウを参照。
2 仕様書P2. 3-1. 日本、中国及び韓国における科学技術・学術政策研究に関する協力についての調査	日本、中国及び韓国の主要な科学技術・学術政策研究を行う機関とあるが、想定されている大学や研究所などがあるか？各国何機関か？	対象機関数の指定はありませんが、科学技術基本計画など政府の科学技術・学術政策研究に関する公的な文書を公表している「日本、中国及び韓国の主要な科学技術・学術政策研究を行う機関」を対象として想定しております。仕様書2頁の3-1を参照。
3 仕様書P3. イ 開催準備 (ア) 中韓参加機関12名分の航空券の確保・支払い及び中韓からの全参加者の入国手続（査証取得等）の支援	中韓それぞれの発着都市（北京、ソウルなど）はどこを想定しているか？	中韓それぞれの発着都市は、現時点では確定していません。弊所主催で2018年に日本で開催した日中韓科学技術政策セミナーでは、北京、ソウルの発着となっていましたので参考にしてください。仕様書7頁の8（3-2の対象）を参照。
4 仕様書P6. 3-4. 結果の取りまとめ 3-1から3-3の項目ごとに取りまとめた委託業務報告書を作成すること。	3-1についてはどれくらいのボリュームが必要か？	分量の指定はありませんが、日本、中国及び韓国の科学技術基本計画など政府の科学技術・学術政策研究に関する公表済みの公的な文書をもとに、本委託業務に必要な情報を整理し、報告書を作成願います。

問合せ先：科学技術・学術政策研究所 総務課用度係 委託担当

電話番号： 03-5253-4111 内線7429

E-Mail : E-Mail: keiyaku[at]nistep.go.jp (メール送信の際は、[at]を @に変換)